

杜の子つうしん

特定非営利活動法人

せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-40-7アルティマ101

TEL/FAX 022-375-3548 H P <https://senmori.org/>

2025年 秋号

2025年10月発行



特定非営利活動法人 FORYOUにここにこの家
理事長 小岩 孝子 氏

NPO活動のきっかけは、両親の他界と平成7年の阪神淡路大震災による社会人第一歩のまち神戸の変貌でした。

両親の生きざまが「自分のためだけに生きる人生でなく、人とつながりをもって、人のためにも生きること」を、神戸の変貌がボランティア活動を教えてくれました。時代の変化とともに、その思いを「カタチ」にして、時に躓き、時に立ち止まり、時に「カタチ」を変えて、地域福祉に取り組んできました。

今は児童館事業・防災減災事業・こども食堂事業・地域交流事業・シニア応援事業・心の輪事業などを行っています。振り返ると、これから必要なことだからという思いが優先で、手探りでやってきたような気がします。

児童館事業を始めたきっかけは、高齢者や障害者のミニデイの日に、こどもの一時預かりをしていた2004年でした。幼子を抱えて離婚したお母さんが職探しにハローワークから帰って来た時に、利用者さんの膝の上で笑っているわが子の姿に流した安堵の涙を見て、「地域みんなで子育て」をスローガンに仙台市で初めての指定管理運営の児童館に応募しました。また、東日本大震災の時に、津波の影響で学校が避難所にならず、児童館に約300人の方たちが避難してきたことなどから学んだ「震災の教訓」をカタチにしようと、仙台市で初めての市民協働提案制度に応募し、「仙台発そなえゲーム」を開発しました。そしてコロナ感染状況の中、集まることができなくなったミ

ニデイに代わって、シニアがシニアの日常生活を支える住民主体の訪問型サポート事業を、これからの超高齢化社会で必要と考え、舵取り変更をしました。

時代の流れに添ったNPO活動を手探りで実施してきましたが、必ずしたことは、周りの方たちに声をかけ、意向を伝え、周りの意見も取り入れながらNPOの思いをカタチにしてきたことです。その思いから地域でのネットワークを結成。2004年18団体地域福祉ネット「ほっとネットin東中田」、震災後の「東中田子育てネットワーク」、コロナ禍後の「東中田つながりプロジェクト」などです。

これからも「伝え合い・認め合い・支え合い」を念頭に、地域や他団体、行政、学校と「つながって、思いをカタチにしていくこと」を忘れず進めていきたいと思います。

今、そして今後も私たちがすべきことは、カタチある「未来への伝言」～つながって～です。

今年7月に法人設立30周年記念式典がありました。おめでとうございます！

巻頭文「未来への伝言～つながって～」 小岩 孝子	1
杜の子まつりin仙台報告	2
杜の子まつりin仙台報告・ライブ&トーク2025 2nd予告	3
ママパライン仙台・ボランティア募集&養成講座ご案内	4
ママパライン仙台	5
児童館★NEWS・第35回みやぎの・まつり報告	6
児童館★NEWS・訃報	7
事務局より・会員更新のお願い・ピックアップ	8

あそびのブース & 舞台芸術鑑賞

杜の子まつり in 仙台

イベント
報告

R7年度「杜の子まつりin仙台」を開催しました!

9月13日(土)に「杜の子まつりin仙台」を開催しました。

参加者数は全プログラムを合わせて973名。たくさんの親子に来場いただきました。様々な遊びの体験ができる「遊びの広場」では、仙台市内ジュニアリーダーと協力団体による計10ブースの出展と、スタンプラリーを行いました。初参加の「人間スロット」や「ドキドキ棒で遊ぼう」など創意工夫にあふれたものから、「けん玉にチャレンジ」「モグラたたき」など毎年好評のブースに至るまで、

日時：2025年9月13日(土) 11:00~16:00
会場：日立システムズホール仙台交流ホール他
参加費：無料
参加人数：遊びの広場505名、芸術鑑賞413名
延べ973名(内スタッフ55名)

親子があそんでまわりました。来場数が昨年度をさらに超えたため、おみやげの数が後半足りなくなった点は反省点です。会場は親子でにぎわい、特に遊びの広場での来場者アンケートの回収数が増加し、感想から充実したあそび体験になった様子が伺えました。

榴岡児童館の小学生スタッフ(TUTUプロ)もスタッフとして入り活躍しました♪



香り袋づくりや読み聞かせコーナーなどもありました



チラシ(オモテ)

遊びの広場 感想

- ・人間スロットはテンション高めでよかった。モグラたたきはうたってくれるのがよかった。
- ・とても楽しくて来年もやって欲しい。
- ・いろいろなしゅるいのけんだまがあってよかった。
- ・いろいろあったのしかった。
- ・何かをつくるおみせがもっとあったらいいなおもいます。
- ・とても楽しくて来年もやって欲しい。
- ・子供も大人も楽しめてよかったです。

- ・遊びの他に、持ち帰れるようなもの(風船など)があるのが良い。
- ・子どもが喜ぶブースがたくさんあり、なおかつスタンプラリー制なため子ども自身積極的に参加していて楽しんでいました。
- ・スタッフの皆さんの頑張りが伝わる、とても楽しい遊びでした。
- ・ジュニアリーダーさんたちがたくさんもりあげてくれてとてもたのしかったです。
- ・帰りのおみやげがなくなってしまっていて残念でした。

劇団たんぽぽ「あやうし!ズッコケ探検」

「あやうし!ズッコケ探検」は申込開始時点で定員が埋まる人気で、当日は413名の親子に鑑賞いただきました。開演挨拶や劇団へのプレゼント、会場アナウンスはジュニアリーダーとTUTUプロ（榴岡児童館小学生スタッフ）が担い、上演中も驚きや笑い声が飛び交う盛り上がった公演となりました。



劇団 **たんぽぽ**



芸術鑑賞 感想

- おしばいがものすごくおもしろくておどろいた。やくどう感がすごい。
- けんかもしたけど、友情とたすけ合いがすてきでした。
- 笑いがいっぱい、とても楽しかったです!!ありがとうございました。
- 道具のアイデアや演技力がすばらしい劇でした。
- おもしろかったのもういっかいやってほしい。

- 子供が飽きないよう、少ない人数・セットでよく演出されていて感動しました。観劇の機会をありがとうございました。
- 親子で演劇の世界観に惹き込まれました。TVとは違いますね。感動しました。又、絶対に観たいです。
- 申込が間に合わなかった…残念。

イベント開催予告

ファミリーで参加大歓迎! 定員200名



ライブ&トーク! 2025 2nd

参加無料



～現代の子どもたち、そして日々子育てに奮闘するママパパへ

“生の”音楽をもっと身近に届けたい!～

前半に演奏家によるミニコンサートを、後半は演奏者と来場者が一緒にフリートークを行います。詳細と申込は今後更新のMHKSホームページにて!

日時 2026年1月10日(土)
 会場 エル・パーク仙台スタジオホール
 (仙台三越定禅寺通り館 6階)
 出演者 池田緋沙子(フルート)・梁田ちゆり(クラリネット)・渡邊千晶(ピアノ)
 司会進行 田原さえ



MHKSホームページ
(<https://mhks.jp/>)

クラシックの癒しをぜひ親子で♪

主催 一般社団法人ミュージックプロデュースMHKS
共催 特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場





はいママパライン仙台です

電話受け手ボランティア募集&養成講座のご案内

ママパライン仙台は、今年度も電話受け手ボランティアを募集し、同時に受け手の養成講座を行います。養成講座は受け手ボランティア希望者だけでなく、子育て支援に関心のある方の聴講も可能です。同送の専用チラシをご覧ください、ぜひお知り合いの方にもお知らせください。詳細及び受講申込みについては、専用チラシまたは下記のQRコードからご覧ください。

直接せん杜の事務局への問合せもOKです。



【令和7年度ママパライン仙台電話受け手ボランティア養成講座】

- ◆受講対象者：ママパライン仙台電話受け手希望者
子育て支援に関心のある方、現受け手
せん杜理事、職員他
(25名定員になり次第締め切り)

- ◆受講料（講座資料代等）：全講座3,000円
1講座700円



昨年の養成講座の様子

◆講座内容

11月24日（日）会場：旭ヶ丘市民センター 第3会議室
10：00～ 養成講座開講にあたり

A	10：10～12：10 「不登校の子どもの理解と家族の支援」 元仙台市教育委員会教育長・「相談・学び塾」代表 阿部 芳吉 氏
B	13：00～15：00 「傾聴ボランティアをする上での心得」 宮城県総合教育センター まなウェルみやぎ相談支援員 山口 景子 氏 (当法人理事)

12月 1日（日） 会場：日立システムズホール仙台 研修室1

C	10：00～12：00 「障害児を持つ家族の理解と支援」 認定NPO法人アフタースクールぱるけ 代表理事 谷津 尚美 氏
D	13：00～15：00 「被災地での子育て事情と支援活動」 NPO法人ベビースマイル石巻 代表理事 荒木 裕美 氏

12月 8日（日） 会場：日立システムズホール仙台 研修室1

E	10：00～12：00 「女性相談から見える社会状況と困難」 仙台市男女共同参画推進センター エル・ソーラ仙台相談支援課 課長 成田 洋美 氏
F	13：00～15：00 「傾聴とロールプレイ」 仙台市自閉症相談センター センター長 黒澤 哲 氏 (当法人理事)

外部講座を受講した受け手の感想

「育てにくさって・・・ずっと続くの?～小さな気づきからの第一歩～」

講師：山崎 剛 氏

主催：NPO法人 子どもの村東北

冒頭より、山崎剛先生自らの子ども時代のお話が始まり、自己肯定感の大切さが心に沁み入る熱いお話しでした。脳の扁桃体部分・・・五感で感じ取ったものがセットとして記憶されていくメカニズム・・・四億年前から人間として生き延びるための感覚。現在では科学研究の面から、トラウマ記憶や愛着理論等も様々なことが分かってきているとのこと。また、子育ては否定が多くなってきてしまいがち。しかし、育てていく上では、肯定的な表現が最も効果的とのこと。親の健康・・・、人の力を借りる、との先生のお話。必要な時に、手や心で受け止められる人でありたいと共に、人間だからこそ誰かを頼り委ねる力も、お互いに必要だと感じました。 K.Y

両手に水の入ったバケツを持たされ、しょげた顔つきの人形を、スライドで紹介し、自分の子ども時代と同じなので、思わず買ってしまったと話す公認心理師の山崎剛氏は、当事者目線の、温かい話ぶりの講師でした。育てにくさの要因は、子どもと親の両方にある。子どもの発達上の個性や気付かないうちに持ったトラウマなどで、大人が対応に戸惑う時は、行動の背景や子どもの気持ちを聴いて、それを一番に尊重し子どもへの対応を工夫し、自己肯定感を育てる事が大切。親の要因としては自分の子ども時代の確執が、子育てに絡んでいることが往々にしてあり、これまでを振り返って自分の気持ちや認識に気づきを得て、変わっていくことも大切とのことのお話に、共感できた講座でした。 S.K

最初に、先生御自身の体験を話され、親の何気ない一言が悪い信じ込みを作ると、その信じ込みに沿った行動をしてしまう、なので極力プラス思考の言葉かけが大切だとのことのお話にヒヤリとしました。愛着形成の大切さは何度も伺っていますが、本当に大切な人格形成の基本なのだと再確認しました。親は、子どもの望ましくない行動に目くじらを立てがちだが、自分の気持ちを上手く表現できない子どもの行動の裏にある気持ちを汲んであげること、そのために良く話を聞いてあげることが大切。そして、その子の強みを肯定する、あるがままのその子を認めることが、自己肯定感を育むことになる。大切だなあ！ だけどむずかしいなあ！最後に、親の心の健康も大切と伺い、全くその通り！自分への共感、自分を褒める、好きなことをする、人の力を借りながら自分の大変なことを話す。ママパパの存在意義はここにあり！と思いました。 H.T



児童館★NEWS



榴岡児童館

☆夏休みのアレコレ：まずは、小学生が超楽しみにしている榴岡天満宮例大祭の「富くじ」大会。富くじ（豪華賞品100本）に懸ける小学生の思いは物凄い！「当たれ、当たれ」の掛け声は大合唱になって響き渡り最高超に達しました。くじを引く校長先生やジュンじゅんにとってはかなりのプレッシャー！天満宮の総代と共にジュン&マー坊の進行ぶりも子どもたちを掻き立てました。地域の拠り所で、地域の一員として関われ光栄でした。

専門学校生企画による「どうぶつふれあいWS」と学校訪問の招待、介護施設との交流WS、昨夏に引き続き北海道大学よさこいサークル縁によるWSが夏休みを盛り上げ、小学生が新たな出会いと体験ができました！児童クラブ内では子どもたちが企画したプログラムも数

件あり、子どもの力がアップしましたぞ。

☆復活しました！「お泊り会」：コロナ禍から中断していたお泊り会を9月に開催、定員20名に40名以上が応募し抽選となってしまいました。グループ毎に、夕食材の買い出し、火起こし、煮炊きと片付けと続き、徳泉寺での肝試し（一人ずつ）では心の葛藤も見ものでしたが、何れにせよ達成感と自信につながったに違いありません。

☆児童館まつり：午前と午後の2部制に500名が参加。子どもスタッフ会改めtutuji projectがグランドデザインを考え、地域諸団体や児童クラブ保護者会のほかにハッピーデンタル、ジュニアリーダーそして榴岡小吹奏楽団の演奏も加わり、地域世代間交流の場として復活しました。



第35回 みやぎの・まつりに 参加しました

10月19日（日）みやぎの・まつりが今年も榴岡公園で開催されました。

会場の芝生広場は特設ステージでの演目披露や、花の模擬競り、消防車・パトカー・自衛隊車両等の展示、育英高校による高校生特別企画など多彩な催しでにぎわいました。

せん杜は「ちょっとのそいてみま専科」コーナーに出展し、榴岡&

新田児童館との合同で活動紹介とあそびをしました。「人間スロット」「空ピンでつくるミニ花ビン・ペン立て」「描いて楽しもう似顔絵」の3コーナーを行い、多くの親子に楽しんでいただきました。榴岡&新田児童館を利用している小学生や親子、地域の方々も立ち寄ってくれました。



児童館★NEWS



新田児童館



今年の夏は本当に暑い日が続き、学校のプールもなし、外遊びも無理な日々でしたが、重大なこともなく無事に乗り切れたことは、大きなステップと感じています。特に元



気がフィールドのご好意でニュースポーツを楽しんだり、本館

や各サテライトで子ども達が夏祭りを企画し盛り上がったことは印象深い事でした。

8/30には乳幼児親子が食べ物や遊びなどのコーナーで「夏祭り」を楽しみました。

9/20の児童館まつりでは子どもスタッフ、中高生スタッフ、児童クラブ保護者会、新田民児協から47名のボランティアの力を結集し約300名の来館者に楽しんでいただきました。焼きそば、チョコバナナ、ポップコーン、ソーセージどれも美味しかったと大

好評！

更に子どもスタッフの「魚釣り・手作りクレーンゲーム」は、10/4に行われた東部市民センターまつりに今年も子ども達の版画や墨絵の作品とともに出張企画として出店し、東仙台の地域の方々に楽しんでもらいました。子ども達の自信に繋がったと思っています。

家庭健康課、東部児童館と進めてきた妊娠期からの支援をイメージした「うえるかむ赤ちゃん講座」が4年目となり、8/30には12組のママ・パパ&赤ちゃんの参加があり、遊戯室がいっぱいになった光景は嬉しいものでした。

これから行う新田小PTAとのかけこ110番を巡る「ハロウィンウォーク」や「新田コミセンまつり」と地域とのイベントは続きます。地域の一員としての役割を果たしていきたいと思っています。



訃報のお知らせ

北田内科小児科医院院長の北田一浩様が9月5日に逝去されました。

北田先生はこれまで当法人を大変な時ほど物心両面で支えてくださいました。宮沢賢治の「雨にも負けず」のように人生を送ったと佐藤一郎東北生活文化大学学長の弔辞を拝聴し、北田先生のお人柄と存在の大きさを改めて感じ入りました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



サポート&ご協力ありがとうございました!

(敬称略・順不同)

- ママパライン仙台■受け手の皆さん、スーパーバイザー
- 正会員■(更新)眞山正太
- 特別支援会員■(更新)佐藤和枝
- 支援会員■(新規)宮島陽子(更新)齊藤礼子、関根由紀、星野宣子、児玉陽子、長田千恵子、河内優子

ピックアップ情報

第10回

教育の未来を支えるネットワークフォーラム 教育小劇とパネルディスカッション

昭和100年、子どもたちの育ちを支えるために・・・今、何を残す?何を変える?

- ◆当法人の代表理事と専務理事がパネラーで参加
- ◆日時: 11月29日(土) 13:00~16:00
12:30開場
- ◆会場: 宮城野区文化センター パトナシアター
仙台市宮城野区五輪2丁目12番70号
JR仙石線 陸前原ノ町駅下車 徒歩1分
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください
- ◆入場無料
- ◆参加申込 右の二次元コードより
<https://forms.gle/9uXQ1dqniPr4aXd46>
- ※Googleアカウントでのログインが必要
- ◆主催: 教育の未来を支えるネットワーク
- ◆共催: 宮城県教育委員会・仙台市教育委員会
- ◆問い合わせ: 国立大学法人 宮城教育大学
教育支援コーディネーター 田辺 泰宏
電話/022-214-3611 FAX/022-214-3751
✉ yasuihiro.tanabe.e3@staff.miyakyo-u.ac.jp



ピックアップ情報

市民講座Ⅱ

「音楽と踊りが彩るバレエの世界」

昔から人々の近くにあった“音楽”を、コンサートと講演により様々な視点から楽しく深める。

- ◆日時: 11月19日(水) 14:00~16:15
13:30開場
- ◆会場: 東北大学加齢医学研究所スマートエイジング研究棟1階 国際会議室
- ◆講師・出演者等のイベント詳細は6ページ内、MHKSホームページQRコードからご覧ください!
- ◆参加無料(先着順・11/12㊦切)
- ◆参加申込 右の二次元コードより
※Googleアカウントでのログインが必要
- ◆共催: 東北大学スマートエイジング学際重点研究センター&(一社)ミュージックプロデュースMHKS
- ◆問い合わせ: 070-6625-9244 (MHKS)
Mail/info@mhks.jp



11月は会員更新月です!

せんだい杜の子ども劇場の事業年度は11月1日~翌年10月31日です。会費を年一括払いで納入いただいている正会員・支援会員の方は、今年度の会費を12月25日までに納入くださいますよう、お願いいたします。

2025年度 第20回 定期総会のご案内

- ★日時: 令和7年12月13日(土)
- ★会場: 宮城野区中央市民センター 第2会議室
(宮城野区文化センター内 仙石線陸前原ノ町駅隣)
- ※正会員の方は議決権があります。12月に総会資料一式を送付いたしますので、ご持参のうえ、ご出席ください。
- ※欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。
- ※支援会員の皆様もどうぞご出席ください。

子育て応援ダイヤル★ママパライン仙台★

☎022-773-9140
毎週金曜日10時~16時



発行: 特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1-40-7 アルティマ101
TEL/FAX 022-375-3548
H P <https://senmori.org/>
E-mail office@senmori.org

